

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔産婦人科（婦人科）〕

指標名

① ロボット手術件数、② 新規悪性腫瘍治療数

目標・ゴール

現状件数の維持ないし増加

目標・ゴール達成による効果

技術と知識・経験の取得、より安全な診療を心がける

目標・ゴールに対する成果の状況

2024 年 ロボット手術件数 90 件、新規悪性腫瘍治療数 129 件

2025 年 ロボット手術件数 104 件、新規悪性腫瘍治療数 128 件

図1 ロボット手術件数の推移

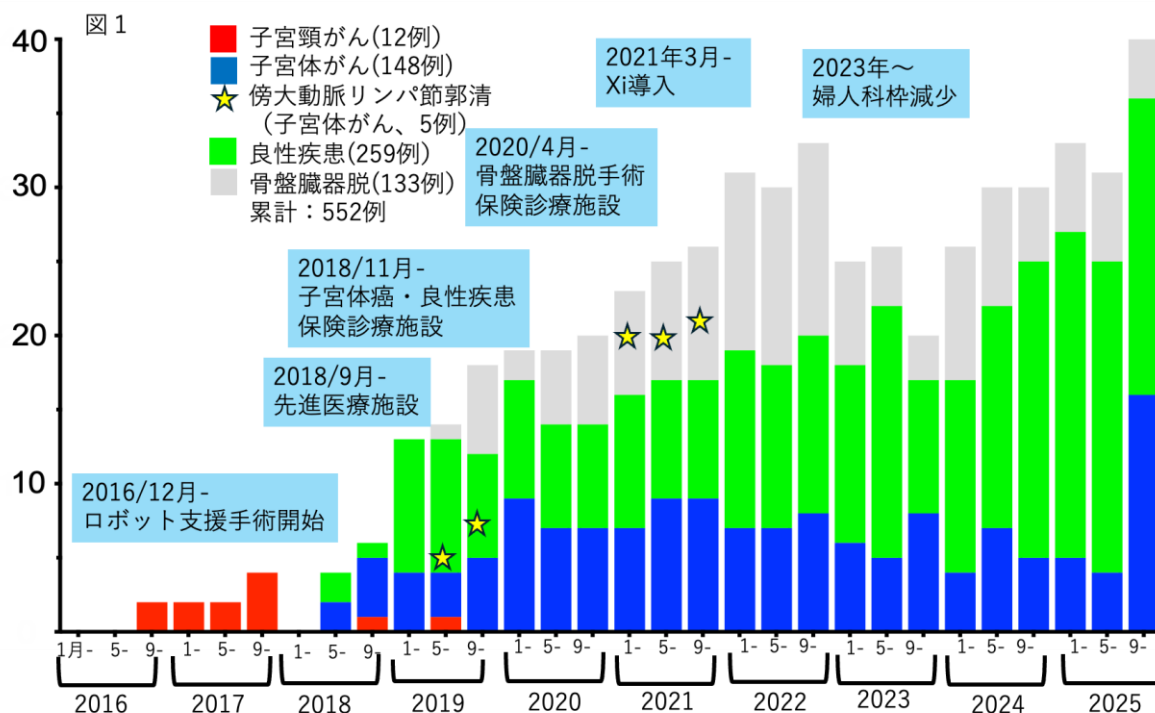
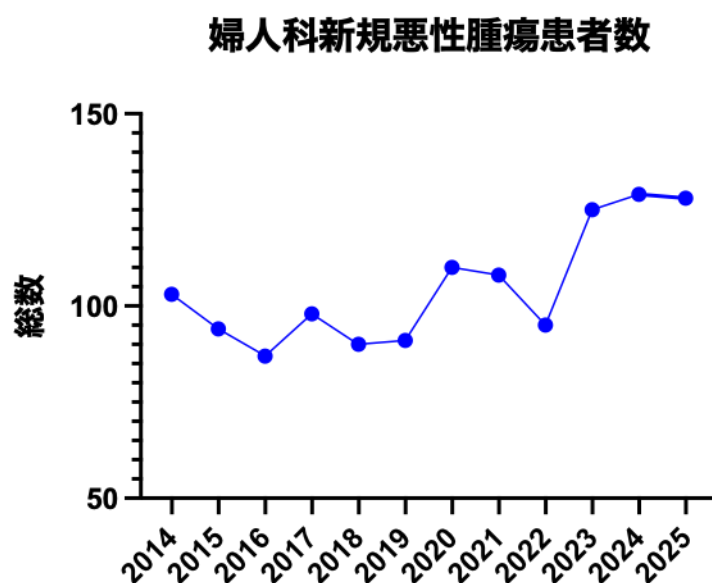


図2 婦人科悪性腫瘍治療数の推移



目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☐ S :大幅に目標を上回った

☐ A⁺:目標を多少上回って達成

☒ A :目標を達成

☐ B⁺:目標を少し下回った

☐ B :目標を下回った

☐ C :目標を大幅に下回った

☐ - :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

1. 2025 年度も引き続き婦人科スタッフの努力によりロボット手術全体の手術件数が増加した。術者・助手の資格取得に尽力しロボット手術に関わる医師の裾野を広げている。また hinotori を用いたロボット手術を婦人科でも開始した。手術室の数やスタッフの労務量など解決すべき問題はあるが、各部門の協力を得つつ安全に進めてゆきたい。
2. 2025 年にも安定した新規悪性腫瘍患者数の診療を行えた。また、婦人科腫瘍専門医数 7 名、また婦人科腫瘍修練医も現在 4 名在籍しており、婦人科腫瘍を専門とする医師も徐々に増えつつある。今後も安全に留意しながら治療患者症例数を増やしてゆきたい。